

大剣ふ頭 ガントリークレーン供用開始式

コンテナの荷役能力が大幅に向上

11月14日、小名浜港大剣ふ頭において、ガントリークレーンの供用開始式が開催されました。

供用開始式には佐藤知事をはじめ約50名の関係者が参加し、ガントリークレーンが設置された岸壁上でテープカット、くす玉開披が行われました。

大剣ふ頭のガントリークレーンは、平成23年3月11日に発生した東日本大震災により損傷したため、福島県が同年11月から新たに製作を進めていたものです。



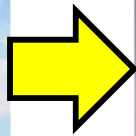
▲テープカットの様子

今回新設されたガントリークレーンは、1時間に20フィートコンテナを約40個取り扱うことが可能で、被災したクレーンのほぼ倍の能力があります。加えて大型のコンテナ船にも対応できるアウトリーチを有することから、小名浜港のコンテナ取扱能力が格段に向上することになります。

新ガントリークレーン



震災によって被災した旧ガントリークレーン



小名浜港は、平成24年4月に韓国とのコンテナ航路が再開し、さらに同年9月には中国への航路延伸が実現しており、南東北を代表する物流拠点として、また本県復興のシンボルとして、さらなる発展が期待されています。

